

## 第6学年 外国語活動指導案

### 1 単元名 Welcome to Japan.～日本の文化を紹介しよう～（「We can! 2」Unit2 参照）

### 2 単元目標

- ・進んで、日本文化について伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。  
【外国語への慣れ親しみ】
- ・日本の行事や食べ物等についての英語の表現の仕方に気付く。 【言語や文化に対する気付き】

### 3 単元について

本単元は、季節と関連付けながら日本の行事や食べ物、遊び等の文化を取り上げ、児童に日本のよさに改めて気付かせることをねらいとしている。四季や伝統に基づいて多くの素晴らしい文化をもつ日本だからこそ、児童は、そのよさを世界の人たちに伝えたいと思うだろう。また、言語材料に関しては、We have～、You can enjoy～、It's～等の表現を前単元までとは異なる場面で繰り返し使うことで、より一層の定着を図っていく。

児童は、これまでに日本の文化や日本人の功績について学習してきた。図画工作の「味わってみよう 和の形」では、日本と外国のものを比べることで、それぞれのよさや特徴について感じ取り、身の回りにある和の形の特徴や美しさに関心を深めることができた。道徳の「エンザロ村のかまど」では、日本の技術をケニアへ伝えた日本人について知り、日本の文化や技術、人の素晴らしさに同じ日本人として誇りをもつことができた。

そこで本単元では、学級の友達やALTを外国からの観光客と想定し、日本について紹介する。自分が調べた日本文化を題材にすることで、児童の興味・関心が高まり、より意欲的に伝え合いに取り組めるようになるだろう。また、日本文化を、単なる知識としてではなく、自分のこととしてとらえさせることが大切である。例えば、日本食について自分はどう思うか、外国の人に伝えたい日本の行事は何か、自分はどんな日本の遊びを楽しみ、それをどう思っていたか等について考えさせたり想起させたりすることで、自分の考えや気持ちを伝え合う活動に取り組めるようにしていきたい。

### 4 児童の実態

#### (1) 調査結果（複数回答）

①外国語活動の時間で好きな活動は何ですか。

ゲームをする	15名
文字や単語を読む	13名
会話の練習をする	12名
外国のことについて知る	9名
英語の会話を聞く	7名
英語の単語や文を書く	5名

②外国語活動で大変な点は何ですか。

- 言っていることを聞き取ること・・・14名
- 単語や表現を覚えること・・・11名
- 間違えずにきちんと話すこと・・・10名
- 自分の思っていることを伝えること・・・6名
- ない・・・1名

③外国の人と仲よくなるためにはどうすればよいと思いますか。

- その国の言葉を学ぶ・・・19名
- 互いの国のよいところを伝え合う・・・12名
- 積極的にその国の言葉でコミュニケーションをとる・・・10名
- 外国の文化について知る努力をし、少しずつ取り入れる・・・8名
- 積極的に文化の交流をする・・・5名

④外国に誇れる日本のよさを言えますか。

はい：15名　　いいえ：16名

- 児童が挙げた具体例　　礼儀正しい…3名、やさしい…2名、おもてなしの心…2名、  
アニメ…2名、茶道、親切、ゴミが落ちていない、城、技術力が  
高い、仲が良い

(2) 考察

本学級の児童が、外国語活動の時間で楽しいと感じている活動は、ゲームである。普段の授業でも、復習や新出単語の練習にゲームを取り入れており、児童はゲームの楽しさを通して英語の表現に親しんでいる。そこで、本時では、復習場面であるた取りゲームを行う。競い合いを楽しみながら決められた表現に親しむことで、その後の内容にスムーズに取り組むことができるだろう。また、文字や単語を読むことを楽しいと答える児童もいるので、話す内容を自分で書いたワークシートを用意し、本時で会話をする際のヒントにできるようにする。

また、外国語活動の大変な点として、半数近くの児童が、「言っていることを聞き取ること」と答えている。そこで、本単元では、児童が日本文化について日本語で書いた資料を中心に学習を進めていく。写真やイラストに加え、日本語の説明も載っていることで、英語に苦手意識をもっている児童も英語で説明することに前向きに取り組むことができるだろう。

児童は、外国の人と仲よくなるための方法として「言葉」を重要であると考えており、文化の理解についての意識は高くない。また、外国に誇れる日本のよさとして、文化よりも人間性や内面的なことを答える児童が多い。そこで、本単元の学習を通して、自国や他国の文化を理解することも、外国の人と仲良くなるための方法の一つであることを実感させていきたい。

5 研究主題との関連

千葉市教育研究会 国際理解教育・外国語活動部会 研究主題  
心の国際化から、共に生きる社会へ  
- 国際性豊かな児童生徒の育成を目指して -

本部会の研究課題の1つである「言語や文化に対する理解を深め、主体的に外国語でコミュニケーションを図ろうとする児童生徒を育成するための外国語活動・外国語科の指導法」の解明のための方策として、本年度は「先行実施をふまえた外国語活動・外国語科の実践的・具体的な手立てを研究していくこと」が挙げられている。そこで、本単元では、外国語活動の3観点の中でも特に、「言語や文化に対する気付き」に焦点をあて、国際理解教育と関連付けた外国語活動を展開する。国際理解は自国文化の理解と異文化の理解とに分けられるが、今回は、主に自国文化の理解を深めることを目標とする。

本単元の前半では、We can! 2 の Unit2 を参照し、日本の文化について、その種類や特徴、英語での表現方法等を学んでいく。後半では、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで学生ボランティアになったという場面設定のもと、来日した外国の人に日本のよさを伝える活動をする。それぞれが興味をもって調べた日本文化について、外国の人に紹介するという目標を立てることで、自国文化の理解が深まるだけでなく、主体的に外国語でコミュニケーションを図る態度を育成できるだろう。日本のよさについて、日本語で堂々と話すだけでなく、英語でも伝えようとする児童を育てていきたい。

## 6 単元の評価規準

- ・進んで、日本文化について伝え合おうとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。  
【外国語への慣れ親しみ】
- ・日本の行事や食べ物等についての英語の表現の仕方に気付いている。  
【言語や文化に対する気付き】

## 7 単元の指導計画

時	主な活動	評価			
		コ	慣	気	評価規準〈方法〉
1	○日本の伝統的な行事や食べ物等について知る。 ○自分の調べた日本文化について、 <b>Three-Hint Quiz</b> を出す。			○	・日本の行事や食べ物等についての英語の表現の仕方に気付いている。 〈行動観察、振り返りカード〉
2	○日本の行事や食べ物等について英語の言い方に慣れ親しむ。 ○自分の調べた日本文化の英語での言い方を知る。 ・ In (summer), we have (fireworks festival). ・ What (food) do you have in Japan? ・ We have (soba). It's (delicious). ・ You can enjoy (rakugo).		○		・日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 〈行動観察、振り返りカード〉

3	○紹介文を英語で書く。 ○学生ボランティアとして外国の人に伝えるための練習をする。 ・ Welcome to Japan.			○	・日本の行事や食べ物等についての英語の表現の仕方に気付いている。 〈行動観察、振り返りカード〉
4 (本時)	○自分の調べた日本文化について紹介する。			○ ○	・進んで、日本文化について伝え合おうとしている。 ・日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。 〈行動観察、ワークシート、振り返りカード〉

### 8 本単元で扱う表現・語彙

- (1) 表現 ・ Welcome to Japan. ・ In (summer), we have (fireworks festival).  
・ What (food) do you have in Japan? We have (soba). It's (delicious).  
・ You can enjoy (rakugo).

既習 ・ I went to (Boso no mura). ・ I enjoyed (tea ceremony). ・ I saw (old buildings). ・ I ate (soba). ・ It was (delicious).

- (2) 語彙 we, culture, temple, castle, firework, popular, traditional, 日本の行事(snow festival)  
味覚(sweet, bitter, salty, spicy), soft, hard, chips

既習 vacation, 動詞の過去形(went, enjoyed, saw, ate, was)

### 9 本時の指導

#### (1) 目標

- ・進んで、日本文化について伝え合おうとする。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ・日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

#### (2) 展開 (4 / 4)

過程	児童の活動	学級担任の活動	A L T の活動	指導上の支援・留意点 ◎評価【観点】〈方法〉
挨拶 (1)	○挨拶し、ウォーミングアップをする。 “How are you?”  “I’m fine/happy/…”	“Let’s begin English class.”  “I’m fine/happy/hungry/…” ” “How are you?”	“weather? day? date?”	・笑顔で元気よく挨拶する。 ・進んでコミュニケーションをとれる雰囲気作りを心掛ける。

復習 1 (3)	○ピクチャーカードで本時に使う語彙を復習する。	“Let’s review. Please.”	“O.K. Listen carefully, and repeat after me.”	・ALT の発音に続いて発声することで、語彙を復習し、自信をもって本時の活動に取り組めるようにする。
復習 2 (5)	○かるた取りゲームで日本人に尋ねる表現を復習する。	○ルールを確認する。 “Let’s play Karuta game.”	○児童とともに外国の人のセリフを言う。	・今回言うセリフは “What do you have in Japan?” であることをおさえる。
<p>《かるた取りゲームの進め方》</p> <p>① 日本の文化が描かれたかるたを広げる。</p> <p>② 外国の人役（児童）は “What do you have in Japan?” と尋ねる。</p> <p>③ 日本人役（担任）は “We have～.” と答える。</p> <p>④ 言われた文化が描かれたかるたを早く取る。</p>				
“What do you have in Japan?”		“We have～.”	“What do you have in Japan?”	・大きな声ではっきり言うよう助言する。
復習 3 (3)	○チャンツで外国の人に紹介する表現を復習する。	“Let’s chant!”	○児童とともに歌う。	・リズムにのって発音できるように声をかける。
<p>♪ Welcome to Japan</p> <p>Winter, spring, summer, and autumn. Winter, spring, summer, and fall.</p> <p>We have festivals in spring. You can enjoy <i>hanami</i>. It’s beautiful.</p> <p>We have festivals in summer. You can enjoy fireworks. It’s exciting.</p> <p>We have festivals in autumn. You can enjoy a full moon viewing. It’s nice.</p> <p>We have festivals in winter. You can enjoy <i>osechi</i>. It’s delicious.</p>				
○めあてを理解する。		○めあてを確認する。	・めあてを確認し、学習への意欲を高める。	
<p>来日した外国の人に日本の文化を紹介しよう。</p>				
展開 (29)	○ボランティアガイドゲームの方法を知る。	“Let’s start volunteer guide		

<p>○デモンストレーションを見て、活動の進め方を理解する。</p>	<p>game!”</p> <p>○デモンストレーションを行う。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーションを通して、進め方の理解を促す。</li> <li>・決められた表現を繰り返して発音することで、表現の定着を図る。</li> <li>・話し方の約束を確認する。(clear voice, eye contact, smile)</li> <li>・ジェスチャーを使うことも奨励する。</li> <li>・使う表現を忘れた際はワークシートや掲示物を見るよう助言する。</li> <li>・質問に対して英語で答えるのが難しい場合は日本語でもよいことを伝える。</li> </ul>
<p>《ボランティアガイドゲームの進め方》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日本人役と外国の人役に分かれる。</li> <li>② 日本人役は自分の調べた日本文化について、資料（和風堂々膝栗毛）を見せながら説明する。</li> <li>③ 外国の人役は説明を受けた後、質問があれば尋ねる。</li> <li>④ やりとりが終わったら、日本人役は外国の人が持っているワークシートにシールを貼る。</li> <li>⑤ 時間で役割を交代する。</li> </ol>		<p>○コミュニケーションの相手役として、児童と共に活動を行う。</p>	
<p>児童が調べたテーマ 祭り、浮世絵、着物、房総のむら体験、茶道、月見、相撲、神社、行事、工芸品、自然、畳、生け花、盆踊り、御殿まり、味噌汁</p>	<p>○相手を見つけれられない児童の支援をする。</p> <p>○資料に載せた写真や絵等も相手に見せながら紹介するよう声をかける。</p>		
<p>S1:日本人役 S2:外国の人役 S1:こんにちは。ようこそ日本へ！ Welcome to Japan. S2: What do you have in Japan? S1: We have (kimonos). It's (beautiful). You can enjoy (wearing kimonos) in Japan. Do you have any questions? S2: Do you have kimonos? S1: No, I don't. I went to (Boso no</p>			<p>◎進んで、日本文化について伝え合おうとしている。</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (行動観察、振り返りカード)</p> <p>◎日本の行事や食べ物等について、尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しんでいる。</p> <p>【外国語への慣れ親しみ】 (行動観察、ワークシート、振り返りカード)</p>

	<p>mura).</p> <p>I saw (many beautiful kimonos).</p> <p>You can enjoy (kimonos) in Japan.</p> <p>S2: Thank you. Bye.</p> <p>S1: Bye.</p>			
<p>まとめ 振り返り (3)</p>	<p>○振り返りカードに、自身の取組について記入する。</p>	<p>○進んで取り組んでいた児童の姿を紹介する。</p>		<p>・めあてに沿って活動することができた児童を賞賛する。</p>
<p>挨拶 (1)</p>	<p>○挨拶をする。 “See you.”</p>	<p>○挨拶をする。 “Good job. That’s all for today. See you.”</p>		